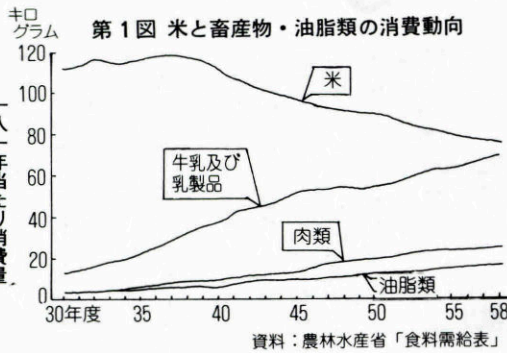
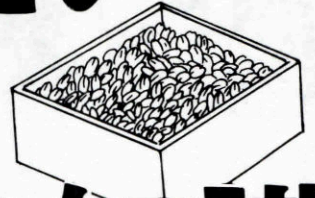


知っておきたい

『お米』の知識



◎減退する米の消費

いま、なぜ日本型食生活か

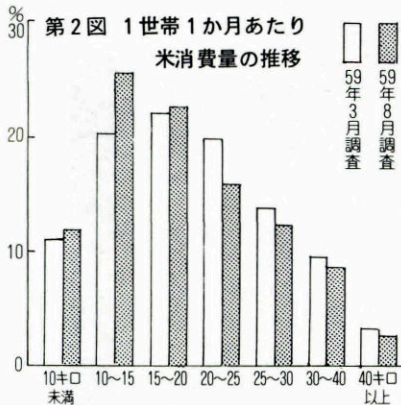
「承知のように農業は本当に厳しい状況におかれてい
ます。農業は国民の食糧を安定供給するなど、大義名分が通
らない時代となりつつあります。その中心となる「米」も、
政府の買付け価格も現状維持が難しい情勢となっております。
このような動きを、概念でなく実体を知っておくことも大
切なことと考え、「米」にまつわる知っておきたい知識を
お知らせすることにしました。

後退しております。昭和五十
八年度の国民一人当りの消費
量は、七五・七キログラムと
なり昭和三十七年のピーク時
にくらべますと約三分の二に
落ちこんでいます。

◎「米」と食事

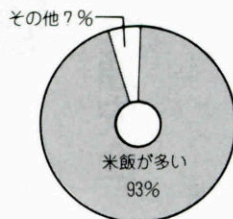
第②図、第③図は食糧庁が
全国の食糧モニターを通しア
ンケートの結果をまとめたも
のです。

第②図は米の一世帯、一ケ

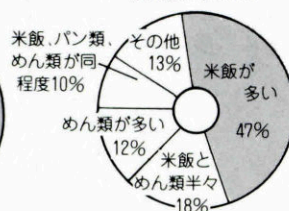


第3図 主食の種類(59年8月調査)

〔夕食の主食〕 回答数 1,295人

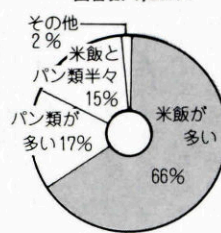


〔昼食の主食〕 回答数 1,295人



〔朝食の主食〕

回答数 1,295人



月あたり消費量について春先
と夏期を比較したものです。
夏期は、とくに消費量が減少
し、二十キログラム以上を消
費する世帯の割合が少なくなっ
ています。第③図は夏場(五
十九年八月)における主食の
内容をしらべたものです。夏
期はめん類の消費が多い時期
ですが、それでも米飯を主食
としている方々が圧倒的に多
くなっています。